

シリーズ

# 企業紹介

**有限会社 原田製麺 板倉支部**

当社は、大正5年に小さな乾麺屋として産声を上げた製麺業者です。



して、軽トラックの後ろにお囃子を鳴らしながら、地元雷電神社の大祭を近隣に宣伝してまわるなど、地域活性に尽力いたしました。

三代目の仁志は、昭和40年50年代、世の中に広まりつつあった、スーパー・マーケットやラーメン店向けに、業態を乾麺から、生麺・ゆで麺に切り替え、お得意先の拡張に努力して参りました。

平成8年に私一平が代表となりました。現在は主に、地元のスーパー、農産物直売所、道の駅、ラーメン店等向けに、麺商品の卸売り販売を行っております。

また、工場併設の「うどんCafe」では、飲食業および自社商品の販売も行っております。

私達は、次の三つを理念として掲げています。



三つ目は、地元産の小麦を積極的に活用したり、「きゅうりの冷汁うどん」など郷土食のPRに努めるなどして、地域農業の活性化に努めることであります。原点を大切にしつつ、社員一同尽力して参ります。どうぞ、よろしくお願い致します。

創業したのは、私の曾祖父、原田伊八です。

伊八は、奉公先で覚えた製粉や乾麺加工の技術を駆使して、近隣の農家から、小麦を借り受け、製粉し、干しうどんに加工して、それを再び農家に納入して、加工費を頂くという商売を始めました。当時は、利根川という大河川の土手を作る大規模な土木工事が行われていたので、そこで働く人達に、自家製の団子や饅頭を売り歩くという副業もしていたようです。

二代目の一蔵は、戦地から戻ると、家業を引き継ぎ、持ち前の外交能力を駆使して、地元商工会の中心メンバーと



一つ目は、上質でリーズナブルな麺商品を作り、お客様に「麺食の喜び」を提供すること。

二つ目は、地元群馬の素晴らしい粉文化・麺文化をしっかりと引き継ぎ、その発展に尽力すること。

## 【会社概要】

企 業 名：有限会社 原田製麺  
所 在 地：邑楽郡板倉町大字板倉1640  
T E L：0276-82-0063  
U R L：haradaseimen.jp  
設立年月日：昭和49年5月1日  
代表取締役：原田一平  
事 業 内 容：製麺業  
従 業 員：9名